

料金別納郵便



唐津

藤ノ木土平 展 処暑—「愛」

令和7年8月24日(日)~30日(土) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日30日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

■茶会のご案内 処暑の茶会 [席主：藤ノ木土平]

日時：8月26日(火) 17時席入

場所：新宿 京懷石 柿 傳(東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビル) 会費：10,000円(税込)

受付・寄付「安与ホール/7階」→点心席「古今サロン/6階」→濃薄茶席「残月亭/9階」

申込：参加ご希望の方は、下記のお電話かメール又は下の二次元コードからお申し込み下さい。

陶歴 昭和24年 新潟県に生まれる
昭和50年 唐津 大橋裕氏に師事
昭和53年 美濃 加藤芳右衛門氏に師事
昭和55年 唐津市に土平窯を開窯

先日、唐津焼の陶芸家、藤ノ木土平さんから「愛は芸術」と書かれた杓形の茶碗(㊦)や、「愛」の文字が彫られた花入が弊廊に届きました。驚きと共に、土平さんらしいなあと嬉しくなり、せちがらい令和の世情を憂う今こそ、皆で愛と芸術について自由に語らうべきと感じた次第です。

土平さんは、唐津手の茶陶に懸命に挑むベテラン陶芸家です。独特の感性で、皆様を喜ばせる様な楽しくも趣のある作品を作られています。トロっとした優しい釉薬と、斬新な造形が愛陶家の皆様の心を掴んで離しません。その窯は、唐津駅から西の呼子というイカで有名なエリアにあります。緑豊かな窯内には、草庵の茶室もあり、土平さんはこの茶室で宗偏流の茶の湯を楽しまれています。日々、茶の湯が間近にあるので、そのお茶は一風あり、取り合わせも洒脱で、現代と古美術の道具を妙味に結んでおられます。

さて、弊廊で二年振り、節目の五回目となる本展では、テーマを「処暑—「愛」」と銘打ち、茶碗や花入などの最新作を発表いたします。残暑厳しき処暑の候で恐縮ですが、皆様と愛と芸術について語らう事を土平先生共々、私も楽しみにしています。

店主 安田尚史

柿ノ木ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

8/26 茶会
申込ページ



